

第 3 1 回
中部修養会

中部教区・合同礼拝

ZOOM / ONLINE

2022年5月1日(日) 10:30~12:00

司会 関 昌宏 師 奏楽 松岡 結 姉

中心聖句



あなたがたは、『まだ四か月あって、それから刈り入れた』と言ってはいませんか。しかし、あなたがたに言います。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。ヨハネ 四・三五

頌 栄 新聖歌 60番 天地こぞりて
招 き 詩 篇 133篇 1節 ~ 3節
祈 り
詩篇交読 詩 篇 126篇 1節 ~ 6節
讃 美 新聖歌 18番 おお御神をほまつれ
聖 書 ヨハネ4章31節~38節

渡邊恵美師

(聖書朗読)

中井英一兄

メッセージ

「えっ、もう収穫!？」

渡邊恵樹師

使徒信条
讃 美 新聖歌 436番 未だ見ぬ地
主の祈り

中川彦市兄

献金感謝
頌 栄 新聖歌 63番 父 御子 御霊の
祝 禱

関 昌宏師

後 奏

—礼拝後に各教会の短い挨拶があります—



● 来週礼拝 エレミヤ8:23~9:25

● 主 題 「エレミヤの涙」

2022年5月1日 VOL. 45-18 No. 2374

にれ はみ

2022年4月24日
聖日礼拝
イザヤ6：1～13
「イザヤの見た幻」
説教 渡邊貞雄 師



ここはイザヤのきよめと召命で、BC700年頃、従兄弟のウジヤ王の死に際してのイザヤ(20歳頃)の経験。

I、イザヤが見たもの

彼は別世界の幻を見せられた。荘厳な神殿の外観ではなく、臨在される「主を見た」(1)。旧約では、神を見た者は死ぬと言われる恐い経験だった。

神の御座は神殿を突き破り、背は高くその衣の裾は神殿一杯に広がっていた。セラフィム(天使)たちは6つの翼で飛び回り、それは尊敬、謙遜、奉仕を表していた。天使たちは「聖なる、聖なる、聖なるかな」「その栄光は全地に満ちる」(3)と呼び交っていた。

イザヤのように人生の困難に出会う時は、心を神殿(教会)に向けて偉大な神と向き合う時ではないだろうか。

II、イザヤに触れたもの

イザヤは天使たちにより、栄光が全地に満ちており聖なる方であると悟った(3)。「聖なる…」と3回繰り返されたのは最もきよき方を意味していた。その時、敷居の基は揺らぎ、宮は煙で満たされた。この声は重低音のベース音ではと内村鑑三は述べている。

きよい神と対面したイザヤは、自分の心の内面の罪と汚れを見せられた。彼は「ああ、私は滅んでしまう」(5)と叫んだ。汚れた民の唇以上に自らの汚れで「滅んでしまう」と悟った。完了形では「滅んでしまった」の意味。「もうダメだ」と自力での解決が不可能であることを悟った。その時、み使いは燃えた炭火を唇に触れ、きよくなったと宣言された。神の側からの一方的なきよめの宣言であった。

III、イザヤが聞いたもの

イザヤはここで何を聞いたのか。彼は、父、御子、御霊が「だれを、わたしは遣わそう…」(8)と、派遣の会話をしておられる神の内緒話を聞いた。それに応えてイザヤは、「ここに私がおります…私を遣わしてください。」(8)と応じることができた。

彼は遣わされるには、あまりにも足りなく、相応しくなく、間に合わない者ですと告白した。きよい神の前で、無に等しいと謙る者を神は派遣される。

「ああ…」(5)と叫ぶイザヤは、主の憐れみで四代の王に仕え旧約の福音書(イザヤ書)を残す預言者となった。